

今年度、四季が丘中学校に赴任してまいりました校長の正岡秀史（まさおか ひでし）です。どうぞよろしくお願いいたします。

本校は、この4月に69名の新入生を迎え、令和6年度を227名の生徒でスタートしました。

さて、「これからの社会は予測困難な時代だ」とよく言われます。私は現在58歳ですが、私が中学生だった頃と比べて、子どもたちを取り巻く環境は大きく変わっています。例えば、放課後の過ごし方や遊び方も違っていました。インターネットもなかったので、情報量も異なりました。今は、世界がかなり身近になりました。電話やテレビはアナログ式で一家庭に一台だったのが、今では一人に一台のスマホも不思議ではなくなりました。私が中学生だった頃には、とても想像できなかった社会になっています。このことは、私よりも年齢的に子どもに近い親世代の方々も、少なからず抱えている考えではないかと思いません。

変化するスピードも、益々速くなってきています。今の中学生が大人になった時、そして私のような年齢になったときは、どのような社会になっているのでしょうか。

だからこそ、これからの生徒たちには、今まで以上に、知識や技能の習得だけでなく、自ら課題を見付けて多様な他者と解決していく「主体性」「協働性」が求められていると考えます。

このことから、本校は、学校教育目標を「ともに学び、自ら伸びる ～自他尊重～」としています。一人に1台のタブレットや電子黒板なども活用しながら、学校教育目標の実現に取り組んでまいります。

また、教育活動のベースにあるのは、当たり前のことを当たり前にすることや、自他を尊重する気持ちをもつことだと思います。本校では、「時を守る」「場を清める」「礼を正す」を教育活動のあらゆる場面において大切にしていきたいと思います。このことを通して、安全で安心な環境を整えるとともに、「自分も他者もかけがえのない存在である」気持ちを育んでまいります。

加えて、本校の地域は自然が豊かであるとともに、本校を支えてくださる地域の方がたくさんいらっしゃいます。地域の皆様のご支援をいただきながら、「ふるさと四季が丘」に愛着と誇りをもった生徒を育てていきたいと考えます。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和6年4月

廿日市市立四季が丘中学校長 正岡秀史

